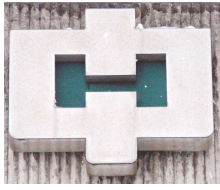


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



朝日子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成28年 12月13日(火) No.17

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

お子さんの鉛筆の持ち方は正しいですか？

1割以下。これは、「鉛筆やペンを正しく持っていると思いますか？」の質問に対して「はい」と答えた生徒の割合です。「悪い」と答えた生徒は9割を超えました。ここ数年気になっていた、鉛筆の持ち方と学力の相関について、全校朝会で話をしました。「正しい鉛筆(ペン)の持ち方をする人とそうでない人とは、学力に差が出るのではないか」という持論です。

ペンの持ち方が悪いと書きづらく、長い文章を集中して素早く書けない。そのことで理解が遅れたり、集中力が低下するのではないかと、姿勢も悪くなり学習効率が下がるのではないかと、感覚的に捉えていました。特に、ここ数年持ち方が悪い子どもが増えているように感じていました。

そこで、ちょっと調べてみました。持ち方が正しくないと、どんな問題があるのでしょうか。次のようなことが挙げられます。

- ① 鉛筆をうまく動かせないで、字がゆがみやすく、筆圧が弱くなり字が薄くなる。→テストや入試では、自分は書いたつもりでも採点者にそう読んでもらえなければ×になります。分かっているのに、書き方が悪くて点にならないとしたら、致命傷になりかねません。
- ② 短時間書いただけで手が痛くなり、長く書けない。→高校へ行くと今の3倍は速い授業になり、書く量も今の3倍になります。これは大変です！
- ③ 悪い姿勢なので指や手、腕、肩、首、目など様々な箇所が疲れやすくなる。
- ④ 姿勢が崩れ、視力の低下や背骨のゆがみなどの原因になる。→部活をする上でもマイナスです。
- ⑤ 勉強に集中できない。→最悪！本来、勉強で集中力を鍛えることができるはずなのに…、逆です。
- ⑥ 学習意欲がわからず学力が向上しない。→やっぱり…。
- ⑦ 見た目も変で違和感をもたれる。→就職試験の時、不利になるかも。

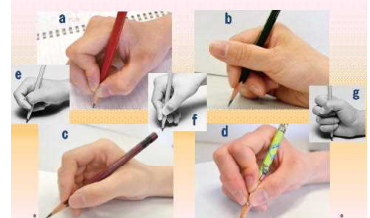
とすると、正しい持ち方であれば、この逆の効果があることとなります。
① 鉛筆を楽に動かせるので、正しく形のよい美しい文字が書ける。② 長時間書いても疲れにくい。③ 指に負担がかからないので、手、腕、肩、首、目が疲れにくい。④ 姿勢がよくなる。⑤ 勉強に集中できる。⑥ 学習意欲が出て、学力が向上する。⑦ 見た目もステキで、好感を持たれる。良いことづくしです。

スポーツでも、正しいフォームを身に付けることが基本で大切だと言われます。野球選手は打率を上げるためにフォームの調整に専念したり、バドミントンであれば正しいラケットの持ち方は当然のこと、素振りで正しい振りを覚えていくでしょう。また、テレビ番組で芸能人が字を書く場面や食事をしているシーンを見ることがありますが、ペンや箸の持ち方が変で違和感を感じることがあります。決してそのしぐさは綺麗ではなく、とても残念に思います。もしわざとそんな芸能人のペンや箸の持ち方を真似している人がいたら、それは大きな間違いです。

本来は小学1・2年生までに身に付いているはずの正しい鉛筆の持ち方ですが、そうでない人はどうすればよいのでしょうか。ペンの持ち方が悪いことで、姿勢を崩し身体に悪く、集中力も損ねているとしたら、そして、学力向上に悪影響を与えているとしたら、まして大人になってから直すのが大変だとすれば…、いつ直しますか？ 今でしょう！

小さい字や薄い字、丸文字なども直して、きれいでわかりやすい文字を書くことを意識して、ペンの持ち方を正しましょう。持ち方が悪いと自己診断した人は、今日から冬休み中の約1か月、正しい持ち方を意識して文字を書いてみてください。冬休み終了までのミッションです。この1か月間、鉛筆の持ち方矯正を自分の意志と自分の将来のために実行してみてください。ゲームのコントローラーのような持ち方で鉛筆を持つことは絶対しないことです。問題を解く時、文章を書く時等、必ず意識して直すことです。三学期に正しく持てる人がどれくらい増えるか楽しみです。学力も上がってくる契機になると確信しています。ご家族の皆様への励ましもお願いします。

あなたの鉛筆の持ち方はどれ？



どこが正しくないの？

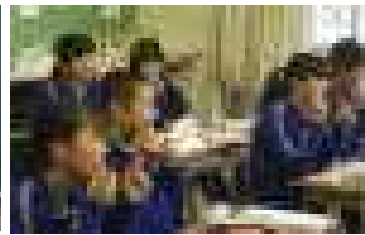
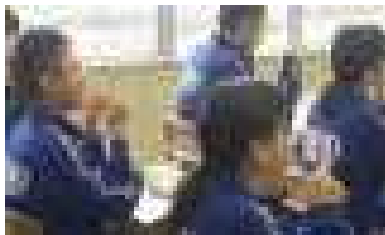


どこが正しくないの？



「歯科保健指導」～歯の磨き方再発見～

歯科衛生士 高柳さんを講師にお招きし、「歯の健康」に関する学習を1日（木）に1・2年生それぞれの学級で実施しました。歯が生えるしくみや若年性歯肉炎の怖さ、スポーツドリンクや炭酸飲料の落とし穴について、分かりやすく説明していただきました。歯磨き指導については、歯ブラシの選び方、正しい磨き方を丁寧に教えていただき、生徒たちは鏡で自分の歯を眺めながらよく磨けたかの確認をしていました。どんな話があったか、ご家庭でも話題にしていただき、ご家族みんなで健康な歯を維持していきたいものです。



【授業後の生徒の感想】

- ・高校生でも歯ぐきが下に落ちて歯が長く伸びてしまう人がいると知りました。「若いから大丈夫」だと思っではいけないと感じました。
- ・歯磨きはいつも時間をかけず、1本1本丁寧に磨いていませんでした。歯の裏側もいい加減だったので気を付けて磨きたいと思いました。

- ・清涼飲料水や炭酸飲料水には砂糖がたくさん入っているので、飲み過ぎないこと、飲んだ後は40分以内に水かお茶を飲んで虫歯予防に努めたいです。
- ・歯ブラシは鉛筆持ちで、振動しながら優しく磨き、磨いた後は歯ブラシの水気を取りきちんと管理したいです。

「薬物乱用防止教室」～薬物の恐ろしさ改めて～

佐渡保健所 の萩野さんを講師にお招きし、「薬物乱用防止」に関する学習を5日（月）に3年生が行いました。薬物乱用の怖さ、身体的・精神的な影響について学びました。誘われても断る勇気が大切であること、断り方についても丁寧に指導いただきました。ビデオの大麻を注射したラットの実験では、仲間のラットを食い殺してしまうシーンがありその凶暴さや行動を狂わす恐ろしさを感じました。世の中からこのような危険薬物が簡単に出回らないよう、過ごしやすい社会になってほしいと願うばかりです。



【授業後の生徒の感想】

- ・危険薬物は一度やったらやめられないものだから、最初の1回をしないことが大切だと思います。薬物を勧められてもだまされないように気を付けたいです。
- ・危険薬物を使うと本当に人生が終わってしまい、人間らしく生きられなくなる。薬物の恐ろしさが忘れられなくなりました。

- ・以前から薬物は悪いものだと分かっていたけれど、改めて怖いものだと感じました。精神的におかしくなったり脳が壊されたりするので、誘いにのらないようにしたいです。
- ・佐渡でも薬物を使って逮捕された人がいたと聞いてショックでした。危険薬物について正しい知識を持ち、将来絶対に使わないで、楽しく過ごしたいと思いました。

「佐渡再発見」で発表 ～コラボ企画をまとめて～

佐渡市小中PTA連合会 と市産業振興課主催の「佐渡再発見Part3 もっと知ろう！佐渡のこと」が4日（日）、金井コミュニティセンターで行われ、2年生の代表が課題解決型職場体験の発表をしました。会場に集まった小中学生やその保護者、ブース出店の企業の前で堂々で行いました。

参加したのは「潟上温泉班」「しまや班」の5人で、野草を生かしたイベント風呂の企画や野草を使ったクッキーが商品化されたことなど、体験したことと併せてスライドで紹介しました。「佐渡テレビ班」の取材・制作したニュース番組（潟上温泉で3つの班がコラボして体験した内容）も放映され、3つの班の実践が合わさった充実した発表内容になりました。文化祭、合同発表会と回を重ね、立派に大役を果たしました。職場体験を通して、大きく成長した2年生に期待です。

ご協力いただいた企業に改めて感謝したいと思います。

